

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊第 1 術科学校大講堂において、第 50 期一般幹部候補生課程の卒業式が挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、一言お祝いを申し上げます。

この輝かしい歴史と伝統を誇る、海上自衛隊幹部候補生学校を巣立って行かれる、第 50 期卒業生の皆様、そして御臨席の御家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。

また、今日まで御指導を尽くされました学校長をはじめ、教官の方々並びに職員の皆様方に対して、深甚なる敬意を表します。

さて、昨年 5 月、現職の米国大統領としては初めて、オバマ大統領が広島を訪問され、被爆地ヒロシマから「核兵器のない世界」に向けて力強いメッセージが全世界に向け、送られました。また、12 月には安倍総理とオバマ大統領が真珠湾を訪問され、「戦争の惨禍を二度と繰り返してはならない」との決意を改めて示すなど、日本及びアメリカにとっては、歴史的に大変意義のある 1 年となりました。

一方で、米国では、米国第一主義を掲げるドナルド・トランプ新大統領が誕生し、安全保障分野を含めた政策の先行きが見通しにくくなっております。また、昨年 12 月に発生した、中国海軍による米海軍の無人潜水機の拿捕事案に見られるように、近年日本周辺を取り巻く安全保障環境は、先鋭化の方向へ変容しつつあると思われま

す。どうか、本日御卒業される皆様におかれましては、ここ江田島で培った「強い使命感」と、御卒業される同期との「チームワーク」を大切にいただきながら、国民の負託に応えていただきたいと願っております。

御存知のとおり、江田島は明治 21 年、今から 129 年前に海軍兵学校が東京築地から移転し、その後昭和 31 年に海上自衛隊をお迎えしてから現在に至るまで、共存共栄、一体不可分の関係で発展してきた町であります。

先日、東京で総会を開催いたしました「東京江田島ファン倶楽部」におきましても、ここ江田島を巣立って行かれた多くの皆様に御参加をいただいております。いつの日か皆様とお会いできる日を楽しみにしておりますので、江田島市を第二の故郷として、折にふれ訪れていただければ、市民一同心から歓迎申し上げます。

結びになりますが、皆様のこれからの大いなる飛躍と御多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、海上自衛隊の健全なる御発展と、そして、我が国の平和と安全を心から祈念をいたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成 29 年 2 月 2 日

江田島市長

あきおか しゅうさく
明岳 周作